

栄養大和

NO. 109

2026,6,30

公益社団法人

奈良県栄養士会

奈良県磯城郡田原本町大字三笠22-1

サンライズ三笠Ⅱ201

電 話 (0744) 33-2166

FAX (0744) 33-2177

郵便番号 636-0342

ご 挨拶

(公益社団法人)奈良県栄養士会会長 松 田 仁



入梅の候、会員の皆さまにおかれましては、いかがお過ごしでしょうか。平素より本会の活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。皆さまのご健勝とご安全をお祈り申し上げます。

機関紙「栄養大和」第109号の発刊にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

第14回定時総会を無事に終えることができましたことを、ここにご報告申し上げます。

また、来賓の皆様には、ご臨席を賜りましたこと、衷心より御礼申し上げます。

さて、このたびの総会では、役員改選ならびに定款変更についてご審議いただき、新理事18名の選任をはじめ、外部監事に関する定款変更を含む提案事項のすべてをご承認いただきました。会員の皆さまに厚く御礼申し上げます。

私も会長に選任いただき、新役員と共に新体制のもと、今後2年間、本会活動の充実に努めてまいりますので、引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

高齢者の健康を取り巻く課題は一層多様化・複雑化しており、低栄養やフレイル予防、生活習慣病の重症化予防、在宅療養を支える栄養管理の重要性は年々高まっております。

加えて、次世代を担う子どもたちの健やかな成長を支える食育の推進も引き続き重要な課題です。このような中、私たち栄養士・管理栄養士には、専門的知識と技術をもって、地域住民の暮らしに寄り添った支援を行うことが求められています。

本会といたしましても、関係機関との連携を一層強化し、奈良県における健康づくりの推進に引き続き取り組んでまいります。

医療・介護・教育・行政など多職種と連携し、地域全体で健康を支える体制づくりに寄与していくことも、私たちの重要な使命であると考えております。

また、地震の少ない本県ではありますが、5月2日奈良県を震源地とするマグニチュード5.7最大震度4の地震が発生いたしました。本会では、令和5年4月に奈良県と「災害時における栄養・食生活支援活動に関する協定」を締結し、災害時の支援要請に対応できる体制づくりを進めておりますので、会員の皆さまには日本栄養士会が運営する「日本栄養士会災害支援チーム(JDA-DAT)」のリーダー研修会や本会が実施している「JDA-DATなら」のスタッフ研修会へのご参加を通じて、他の府県の栄養士会との連携強化にご協力を賜りますようお願い申し上げます。災害時には、県民の皆様への支援活動にお力添えをいただければ幸いです。

本会では、計画した諸事業を会員の皆さまと力を合わせて着実に進め、県民の皆さまが健やかで豊かな日々を送ることができるよう努めてまいります。今後とも、なお一層のご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

奈良県栄養士会 7月～12月の事業・研修会の予定

研究発表会演題募集

日時：令和8年8月25日（火） 13：30～17：00

場所：奈良県社会福祉総合センター 5階研修室C

※各事業部1演題以上の発表をお願いします。申込・お問い合わせは栄養士会事務局まで。

優秀な演題に対し、最優秀賞・優秀賞・奨励賞を授与します。

研 修 会

◇学校健康教育事業部 令和8年度 学校健康教育事業部スキルアップ研修会

日時：令和8年7月16日（木） 9：15～16：30

場所：奈良県社会福祉総合センター（会場開催のみ）

内容：個別的な相談指導についての講演・グループ演習及び解説など

講師：京都市教育委員会体育健康教育室 専門主事 小山 ひとみ氏

◇福祉事業部 令和8年度 児童福祉スキルアップ研修会

日時：令和8年8月6日（木） 13：30～16：00

場所：畿央大学（会場参加およびZoom参加）

内容：「子どもの育ちに合わせた食の支援について（仮）」

講師：畿央大学 健康科学部 健康栄養学科 准教授 野原 潤子氏

◇福祉事業部 令和8年度 福祉事業部全体スキルアップ研修会

日時：令和8年9月12日（土） 13：30～16：50（予定）

場所：畿央大学

内容：事例提供①「新規入所者への対応事例」

介護老人保健施設 秋篠 大塚 杏萌氏

事例提供②「環境の変化により看取りへ移行した事例」

介護老人保健施設 リンク樫原 島田 友美氏

◇フリーランス・栄養関連企業等事業部近畿ブロック研修会

日時：令和8年10月11日（日） 13：50～16：30

場所：奈良県コンベンションセンター 1階会議室

内容：「5歳児健診の標準化・体制整備の必要性和栄養士とのかかわり方（仮）」

講師：鳥取県総合療育センター 院長 小枝 達也氏

生涯教育研修会

◆第3回

令和8年9月26日（土） 13：00～16：30 場所：帝塚山大学 学園前キャンパス

◇講演：感覚過敏の僕を感じる世界

講師：感覚過敏研究所 加藤 路瑛氏

◇講演：生きるを支える食支援とは

講師：EatCaraクリエイイト代表 言語聴覚士 川端 恵里氏

◆第4回

令和8年12月5日（土） 13：00～16：30 場所：帝塚山大学 学園前キャンパス

◇講演：高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施について

講師：神奈川県立保健福祉大学 田中 和美氏

◇講演：食物アレルギーと防災について

講師：一般社団法人LFA Japan 大森 真友子氏

理事会

8月29日（土） 第3回 理事会 場所：奈良県営福祉パーク

10月10日（土） 第4回 理事会 場所：奈良県営福祉パーク

12月12日（土） 第5回 理事会 場所：奈良県営福祉パーク

（公社）奈良県栄養士会 令和8年度 第14回定時総会

日 時 令和8年5月28日（木）

午前10時から午後3時

会員数 534 名

出席者 67 名

〔 書面決議 378 名
（出席者含む）
委任状 2 名 〕

合 計 380 名

定款第18条の規定により成立。

議 事

(1) 報告事項

報告第1号

令和7年度事業報告について

報告第2号

令和8年度事業計画について

報告第3号

令和8年度収支予算について

(2) 議案事項

第1号議案

令和7年度収支計算書及び財産目録承認の件

第2号議案

奈良県栄養士会定款改正案の承認の件

第3号議案

役員候補者（理事18名・監事2名）及び外部監事の選任承認の件

全ての議案について承認されました。

記念講演

演題：介護食について

～美味しく、楽しく、安全に～

講師：全国食楽推進普及協会

管理栄養士 岩本 恵美氏

岩本氏が高齢者施設に勤務されている時に、利用者が「食べたい」と思える介護食「やわ楽（やわらぎ）」を開発された経緯について詳しくお話しいただきました。

咀嚼力や嚥下力が低下した要介護者に提供されるペースト食は、食感がどれも同じで、ねばねば感が口に残り誤嚥のリスクも大きいことや、食べる意欲の低下が低栄養につながるなどの問題点を感じておられました。

安全で、見た目も美しく、食材のおいしさが感じられる介護食を作ろうと、ゲル化剤を使って試作を何度も繰り返し、介護食「やわ楽」が誕生しました。

やわ楽は、食材をつぶしたものをゲル化剤の種類や使い方を工夫して、もとの食材の形に成型しますが、魚やさつま芋は成型後に皮を載せて、それらしくしたり、粥ゼリーはのどに引っかからない程度の小さい粒を残すなど、より美味しく感じられるように様々な工夫がこらされています。

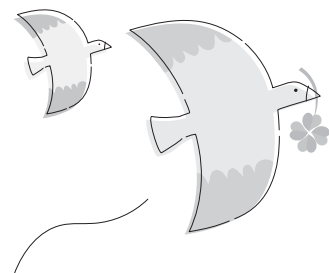
施設の食事のペースト食、極刻み食をやめて、やわ楽食に置き換えた結果、1年後には、むせがなくなり、利用者の栄養状態や食事時のQOLが改善されました。

その他、やわらか食への取り組みと実際の献立メニューをまとめた本「やわらか食へのチャレンジ」を出版されたり、退職後には、企業とやわ楽食を冷凍商品として開発し、発売されるなど、美味しくて安全な介護食を広め、身近に利用できるように取り組まれています。

また、岩本先生は「健康寿命延伸活動」の場を立ち上げ、座学や実習を伴う健康食セミナーを開かれるなど積極的に活動されておられます。

お話の最後に、今後ますます要介護者は増加傾向にあるが、いつまでも美味しく楽しく安全に食べることができる時代となり、そこで管理栄養士（栄養士）が活躍することを期待していますとエールをくださいました。

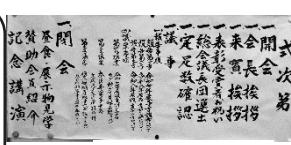
「食べる力は生きる力！」という岩本先生の思いが伝わる講演会でした。



【第14回定時総会】



受 付



式次第



会長挨拶



来賓の方々



議事進行

優良会員並びに優れた活動に対する顕彰



厚生労働大臣表彰 桐間 周子
文部科学大臣表彰 山本 典子
奈良県知事表彰 梅本 好美

【展示ブース】

国際化工(株)様

尾家産業(株)様

タニコー(株)様

(株)大塚製薬工場様

(株)ナリコマエンタープライズ様

奈良ヤクルト販売(株)様

(株)いわさき様

大塚製薬(株)様

(株)原田フーズ様

(株)ハーバー研究所様

ニュートリー(株)様

伊那食品工業(株)様

キッセイ薬品工業(株)様

(株)フード・デリ様



ご協力いただきました賛助会員の皆様ありがとうございました
順不同、株式会社は(株)で記載しています

各事業部より研修会の報告

災害時栄養・食生活支援研修会

公衆衛生事業部 森田 ひろ子

日 時：令和8年1月6日（火）

10：00～12：00

場 所：奈良県営福祉パーク 研修室

出席者：19名

内 容：

災害発生時においては、災害直後から長期にわたり被災者への食事の提供およびその質の確保、栄養管理が重要となることから、行政栄養士の栄養・食支援活動の位置づけについて確認を行い、今後、各自治体の地域防災計画等の記載内容の充実が図られることを目的に研修会を開催しました。

(1) 会員からの伝達研修会

①「耳の聞こえない方向けの防災ハンドブック 講座」健康づくりセンター 山本管理栄養士 チームBOUSAI 作成のハンドブック講座について伝達していただきました。

- ・聴覚障害があっても災害時に助けられることのみを想定するのではなく、自分のことは自分で行うことや、耳が聞こえなくても助け合うこと、また避難するための体力づくりも重要。普段から避難訓練を行っておくこと、避難の際には頭を守ること（ヘルメットが無ければ布団等でもよい）、スマホにホイッスルをつけておいて居場所を知らせるなど。（ホイッスルは、単調に吹いても気づいてもらいにくいいため、リズムをつけて人が鳴らしていることを知らせる。）ハザードマップや防災アプリなど平時から確認しておくこと。ペットボトルの水の賞味期限は過ぎていても飲用以外に活用できる。カセットコンロは10年、カセットコンロのボンベは7年が使用期限。簡易トイレの処理ボックスを準備しておくこと。避難用の持ち出しリュックは様々試してみることも必要（実際に持ち出せるか、重すぎると持ち出すことが困難）

②奈良県栄養士会災害研修

奈良市健康増進課 奥家管理栄養士

令和7年11月1日・2日に開催された1府3県合同災害支援スタッフ養成・スキルアップ研修会の伝達をされた。

- ・JDA-DATという組織の概要、災害時の栄養士の役割について伝達された。各自治体や県と市町村間での必要な体制づくりを考えるきっかけになったと考える。

(2) 災害時の行政栄養士の役割や課題について意見交換

- ・栄養・食支援に関する活動マニュアルの作成がなく、保健センターの栄養士は救護班や医療班に入っているところが多い。また、炊き出しは教育委員会が担当。まずは市の栄養士で栄養・食支援について共有することや、炊き出しや弁当業者に国から示されている栄養の基準を示すことが必要。
- ・市の防災計画の見直しの際、障害福祉課や教育委員会等の各担当に栄養士から通知や注意事項について情報提供を行った。
- ・市と食品業者が協定を結んでおり、災害時の食品提供について記載されている。
- ・町の防災計画に食物アレルギーについて明記された。業者との協定で、キッチンカーによる炊き出しについて締結された。

参加者は、自市町村の災害時の支援体制を事前に確認し、各研修会の伝達や他市町村との意見交換から参考にできること等、情報収集を行うことができた。

公衆衛生事業部会員は、少数配置が多いため会員同士の情報共有や意見交換を行える機会となっているため、今後も必要に応じ実施していきたいと考えている。

令和7年度
地域活動事業部・勤労者支援事業部
スキルアップ研修会報告

地域活動事業部 中島 由美子

日時：2月1日（日）13：30～16：00

場所：奈良県営福祉パーク 2階 研修室

方法：会場とZoomによるハイブリッド・オンデマンド形式

参加者内訳：33名（会場15名 Zoom13名
オンデマンド5名）

講演：「健康経営・カフェテリアプランを考える
うえでの必要な知識とスキル」

講師 神奈川県立保健福祉大学院保健福祉学科
研究学科長及び（公社）日本栄養士会
副会長 鈴木 志保子氏

目的：「健康経営・カフェテリアプラン」などフリーランス、栄養関連事業関係者に求められる社会背景や需要の変化と日本栄養士会が期待する会員への未来像など、フリーランスとして活躍したいけれど、どうすればよいか不安を感じている会員への学びや政策提言できる会員を増やす機会とし会員のスキルアップにつなげる。また、他の職域事業部の会員との交流と今後の連携につなげる。

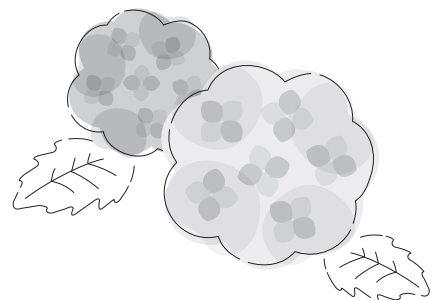
内容：

近年、持続可能な社会構築が様々な分野で取り組みが広がり、企業経営においても健康経営で従業員満足度や顧客サービス向上につなげるカフェテリアプランの効果などの事例発表やそれに付随した新たな産業創出など「健康経営・カフェテリアプラン」における行動変容の環境がある。その中心となる食生活や栄養相談の担い手の専門職、特にフリーランス栄養士は、社会動向を理解した上で多様な働き方と知見の提供の在り方が求められている。講師からは社会変化の現状と国民の栄養に関する知識の現実（管理栄養士・栄養士が出会う患者やクライアントは栄養学を知らない人た

ち）と栄養学を伝える困難さやエビデンスに沿った理解の深め方の難しさを「知ったつもりの人が多い」、サプリメントの定義や実情について解説され、カフェテリアプランにおいても健康増進へのスポーツプログラムが多いことから講師専門のスポーツ栄養学を取り入れてクライアントへの対応についての留意点や学びの機会への情報提供などがあった。学び続けることこそがクライアントへの「知ったつもり」から「学び、理解する」行動への変容と健康経営・カフェテリアプランの目的に沿った専門職の役割につながることを教わった。

事前アンケートからは、健康経営・カフェテリアプランについて「知らない、よくわからない」方が多くありながらも新しい事業への興味関心は大きく、講師のパワーを得たいとの、講師に惹かれて参加希望した声もあった。申し込み件数は多く、職域を超えた興味関心度の高さもわかった。研修後のアンケートからは、参加してよかったと評価が高く、参加者は奈良県内会員のみに留まらず、都道府県からの参加もあり、研修目的は果たせた研修会であった。但し、カフェテリアプランの多様な事例があるともっとわかりやすかったとの課題が残り、メールでのアンケートフォーム送信時には厚労省ホームページの事例について添付しておいた。

今後、非会員フリーランス栄養士ともつながり時代に沿う活動を計画していきたい。



生涯学習

令和7年度生涯教育研修会報告

シンポジウム

令和8年2月7日(土) 奈良県営福祉パーク

テーマ 能登半島から学ぶ災害時の備えと連携
～それぞれの立場でできることを考える～

○基調講演 能登半島地震からの体験談～今備えられるべきことを考える～

講師 石川県栄養士会 認定栄養ケアステーションチームKEY栄養相談室責任者
橋本良子氏

○シンポジストによる講演

①金沢1.5次避難所での活動(JDA-DATなら)

講師 社会福祉法人 協同福祉会

あすなら苑 青木 香奈氏

②奈良県の現状と課題(公衆衛生事業部)

講師 奈良県健康推進課 西 太郎氏

③災害に備えた準備 事例紹介(医療事業部)

講師 社会福祉法人 バルツァ事業会 重症心身障害児学園・病院 里中 千恵氏

参加者 46名(会場35名、オンデマンド11名)

橋本氏より、能登半島地震から現在に至るまで、被災地で実施された具体的な支援内容や、周囲との関わりについてご教授いただきました。被災者でありながら支援者でもあるという立場からのお話は、一つひとつの言葉に重みがあり、深く心に残りました。平時から周囲とのつながりを築いていたことが、有事における支援体制を機能させる大きな基盤となっていたことを、改めて認識いたしました。

シンポジストの方々からは、JDA-DATの活動内容、奈良県における災害対策の現状と課題、重症心身障害児者施設での対応など、多様な視点から示唆に富むお話を伺うことができました。事業部ごとのグループワークでは、多くの意見が交わされ、大変前向きな意見交換の時間となりました。そこで挙げた課題や提案を今後の改善につなげ

ていくことが重要であり、事業部の枠を超えて奈良県栄養士会としての取り組みを、より一層発展させていく必要性を感じました。

日本栄養士会研修会の報告

2025年度 学校健康教育全国研修会 報告

学校健康教育事業部 中島 育子

【日時等】2026年2月8日(日)9:00~16:20
web開催(zoom)

毎年2月に開催される研修会で、日本栄養士会会員及び非会員が参加できます。(参加費必要)今日の課題に対して多角的に最新情報を得られる大変有意義な研修会です。

講演①「未来の栄養と食～栄養問題の解決を目指して～」

(公社)日本栄養士会会長 中村 丁次氏

日本の栄養課題→**高齢社会、経済格差、多様な生活等による「栄養不良の二重負荷」**

※栄養不良の二重負荷→国家、地域、家族、個人の一生に渡り、低栄養と過栄養(飢餓と肥満)が共存する。

講演②「栄養教諭の職務と個別的な相談指導」

文部科学省総合教育政策局健康教育・食育課学校給食調査官 齋藤 るみ氏

講演③「相対的エネルギー不足によって引き起こされる健康問題(スポーツ現場での事例を中心に)」

日本大学文理学部体育学科公認スポーツ栄養士 松本 恵氏

事例報告①「陸上競技を実施する貧血生徒への個別的な相談指導(中学校2学年女子)」

京都府宮津市立宮津中学校

栄養教諭 須佐美 佑吏氏

講演④「食行動(自閉症スペクトラム障害・摂食障害・摂食嚥下など)に問題のある子どもへの支援」

大阪医科薬科大学医学教育センター・小児科 瀧谷 公隆氏

事例報告②「健康課題『食行動に問題(摂食障害)』
を抱えている児童生徒に対する個別的
な相談指導」

栃木県栃木市立大平中学校栄養教諭

中田 智子氏

2025年度 学校健康教育職域 全国リーダー研修
会 報告内容

学校健康教育事業部 中島 育子

【日時等】2026年1月18日(日)12:30~16:10
web開催(zoom)

毎年1月に開催される各都道府県の代表が参加
する研修会です。

【議事】

- ・2024年度事業執行状況報告
- ・2025年度事業報告
- ・2026年度事業計画

あるべき姿(方向性)

児童生徒の生涯にわたる健康、命、
幸せに貢献できる栄養教諭を目指す。

基本方針

- ①栄養教諭の配置促進に向けた対策の強化を推進
する
- ②こどもたちが効果のある個別的な相談指導を受
けることができるための人材育成の充実を図る
⇒各都道府県の栄養士会主催での個別的な相談指
導等研修会の実施(目標値47か所)

【講演】

「栄養の力で児童生徒を幸せにする」ために
～栄養教諭配置を促進するための方策を考える～
(公社)日本栄養士会学校健康教育職域担当理事
中田 智子氏

【グループディスカッション】

- ①栄養教諭の配置率が高い地域については、その
ことによって良かったこと
- ②配置率が進んでいない地域については、それぞ
れの立場が受ける具体の姿について感じるこ

③栄養教諭の採用や任用替えを進めるためにどの
ようなことが必要か

研究教育事業部

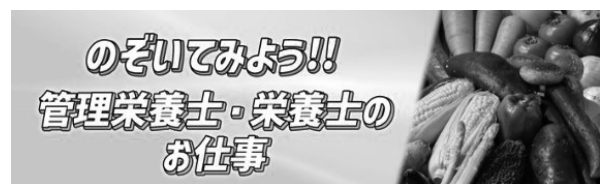
研究教育事業部の会員は、大学等で管理栄養士
・栄養士の養成に携わるとともに、専門的な知識
や技術の提供を行うほか、自身の研究活動を通じ
て、社会に貢献している。

研究教育事業部の取り組み

令和7年度より、「管理栄養士養成校との連携
による管理栄養士養成施設への支援事業(栄養士
の活動紹介)」を行っている。

この事業は、管理栄養士養成施設で学ぶ大学生
が、先輩栄養士の業務の実際に触れることにより、
それぞれの分野の現場理解を深め、職業としての
管理栄養士をより身近に感じてもらうことを目指
しています。あわせて、奈良県栄養士会の意義や
役割を周知し、会員増につなげることもねらいと
している。

具体的には、奈良県内管理栄養士養成施設を卒
業し、県内で勤務する先輩栄養士からのメッセー
ジ動画を作成しました。これらの動画を県内の管
理栄養士養成施設の授業や就活関連のイベント等
で活用していただきたいと考えている。



ご協力いただいた方は以下のとおりです。

●研究教育事業部

上西梢さん(近畿大学卒:畿央大学)

●公衆衛生事業部

越中星さん(畿央大学卒:奈良県健康推進課)

●地域活動及び勤労者支援事業部

宮内友理さん(近畿大学卒)

●福祉事業部(高齢)

青木香奈さん(近畿大学卒:あすなら苑)

今後、残りの事業部の動画を作成予定です。ま
た、随時追加していきたいと考えていますので、

対象者の立候補や推薦について皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

令和7年度

●第5回理事会報告

日時：令和7年12月13日（土）

13：30～17：00

場所：奈良県営福祉パーク 2階研修室

1. 会長挨拶 松田 仁会長
2. 定数確認 出席理事 16名
3. 報告事項

- (1) 奈良県健康づくり提唱のつどい実施報告
- (2) 2025年度第2回生涯教育担当者会議（日栄Web会議）
- (3) 4府県JDA-DATスタッフ養成・スキルアップ研修会報告
- (4) 栄養ケアステーション人材育成研修会

4. 協議事項

- (1) 食生活と植物油に関する講演会の開催について
- (2) 「災害時栄養・食生活支援研修会の開催について」
- (3) 会員の安否確認の方法について
- (4) 定款及び関係する施行細則の改正について

5. その他連絡事項

- (1) 各事業部、委員会よりの報告事項
- (2) 新入会及び退会者について

●第6回理事会報告

日時：令和8年2月21日（土）

13：30～17：00

場所：奈良県営福祉パーク 2階研修室

1. 会長挨拶 松田 仁会長
2. 定数確認 出席理事 15名
3. 報告事項

- (1) 令和7年度 公益社団法人日本栄養士会
公衆衛生事業推進委員会
近畿ブロックVCS会議報告
- (2) 災害時栄養・食生活支援研修会について

- (3) 2025年度学校健康教育全国研修会について
- (4) 2025年度学校健康教育職域管理栄養士・栄養士育成のための全国リーダー研修会について
- (5) 全国栄養ケア・センターリーダー研修会報告
- (6) 食生活と植物油に関する講演会について
- (7) 地域活動事業部スキルアップ研修会報告
- (8) 災害時の備えと連携に関するシンポジウムの開催について
- (9) 役員選任管理委員会開催報告
- (10) 令和8年度役員改選に伴う欠席者の議決権行使の承認

4. 協議事項

- (1) 令和8年度事業計画(案)及び収支予算(案)の承認
- (2) 令和8年度資金調達及び設備等の見込みの承認
- (3) 総会の役割分担について

5. その他

- (1) 各事業部、委員会よりの報告事項
- (2) その他
・「ネイチャーポジティブの輪」のシンポジウムについて
退会者・新入会員について

令和8年度

第1回理事会報告

日時：令和8年4月18日（土）

13：30～17：00

場所：奈良県営福祉パーク2階研修会

1. 会長挨拶 松田 仁会長
2. 定数確認 出席理事 14名
3. 報告事項

- (1) 代表理事報告 会長・副会長
- (2) 令和7年度管理栄養士養成校との連携による管理栄養士養成施設への支援事業（栄養士の活動紹介）事業実施報告
- (3) 2025年研究教育職域全国研修会、研究教育

職員管理栄養士・栄養士リーダー養成のための全国リーダー研修会報告

(4) 2025年全国福祉リーダー研修報告

(5) 近畿ブロックオンデマンド事前アンケート結果

4. 協議事項

- (1) 令和7年度収支計算（決算）（案）
- (2) 令和7年事業報告（案）及び総会議案書の最終確認について
- (3) 福祉事業部（障がい福祉）ステップアップ研修会開催について
- (4) 令和8年度生涯教育研修会の計画について
- (5) 令和8年度学校健康教育事業部スキルアップ研修会について
- (6) 栄養大和No109の発刊について
- (7) 賛助会員入会承認について

5. その他連絡事項

- (1) 各事業部、委員会よりの報告事項
 - ・ 令和8年度近畿ブロック研修会開催について（地域活動事業部）
 - ・ 奈良市食育ネット幹部会について（地域活動事業部）
 - ・ 総会の役割分担（各事業部）の報告について
- (2) その他
 - 新入会及び退会者について

1. 会長挨拶 松田 仁会長

2. 定数確認 出席理事 18名

3. 報告事項

- (1) 令和8年度医療事業部スキルアップ研修実施報告
- (2) 日栄 研修会の案内

4. 協議事項

- (1) 理事の職務と役割 令和8年度理事役割分担について
- (2) 合同災害支援スタッフ養成・スキルアップ研修会
- (3) 福祉事業部全体スキルアップ研修会
- (4) 令和8年度児童福祉ステップアップ研修会
- (5) 奈良県知的障害者施設協会とのコラボによる研修実施
- (6) フリーランス・栄養関連企業等事業部近畿ブロック研修会について

5. その他 各事業部からの報告

- 会員入会、退会 等
- ・ 栄養大和発刊の進捗状況・予定など

●臨時理事会報告

日時：令和8年5月28日（木）

11：10～11：25

- ・ 令和8年度総会時に、承認された新理事（出席16名）で協議が行われ代表役員を選定。

新代表役員 松田 仁 会長
 藤井 智津子 副会長
 杉本 共美 副会長

●第2回理事会報告

日時：令和8年6月6日（土）

13：30～17：00

場所：奈良県社会福祉総合センター 3階会議室



新入会員紹介

名 前	事 業 部
日 高 聖 華	学校健康教育
藤 井 優 樹	学校健康教育
山 下 遥 香	公衆衛生
玉 木 奈 都 美	地域活動
梨 原 祥 子	地域活動
山 二 利 早	地域活動
池 本 隼	医療
小 曳 歩 果	医療
櫻 井 美 穂	医療
竹 口 綾	医療
花 澤 菜 月	医療
平 塚 千 晶	医療
大 川 沙 織	福祉
岡 本 健 太 郎	福祉
岸 本 裕 子	福祉
田 中 絵 美 菜	福祉
辻 井 万 喜 子	福祉
辻 本 佳 奈	福祉
辻 本 真 奈	福祉
堀 口 佳 奈	福祉
榎 谷 駿	福祉
山 内 優 花	福祉
西 村 実 希	児童福祉

新入会員は4月1日～5月25日までの加入者です。
(以上23名) (順不同、敬称略)

新理事役割分担

氏 名	執行部役割
松 田 仁	総括
藤 井 智 津 子	総務部長&組織部長
杉 本 共 美	事業部長&広報部長
口分田 憲 子	総務部
西 川 照 子	総務部
山 田 知 美	総務部
米 田 なおみ	広報委員長
東 川 美 幸	広報委員
前 川 千 恵	広報委員
山 本 典 子	広報委員
木 島 隆 栄	JDA—DAT なら委員長
餅 美 知 子	JDA—DAT なら
中 島 由 美 子	JDA—DAT なら
原 田 真 美	JDA—DAT なら
山 根 香	栄養ケア・ステーション 委員長
畠 中 真 紀	栄養ケア・ステーション委員 ホームページ委員長
森 島 真 幸	生涯教育委員長 (研究発表会)
菊 崎 泰 枝	生涯教育委員 (研究発表会)

(順不同、敬称略)

ご逝去のお知らせ

5月25日学校健康教育事業部の浦中美恵様がお亡くなりになりました。栄養士会会員として60年の長きにわたり、ご活躍され、栄養士会の理事もお勤めいただきました。ここに会員の皆様にご報告申し上げ、故人のご冥福をお祈り申し上げます。

昭和精肉店

〒636-0034

奈良県磯城郡田原本町 624

TEL 0744(32)2066

FAX 0744(32)7759

安心と信頼の 総合厨房機器メーカー

業務用厨房機器製造販売



株式
會社

中西製佐所

□奈良営業所

〒639-1031 大和郡山市今国府町6-3

TEL:(0743)56-6001 FAX:(0743)56-6236

病院・福祉施設さまの厨房運営課題を解決へと導く

ナリコマのトータルコンサルティング

普通食と同献立／価格で3種の介護食



ナリコマは創業以来、医療介護福祉業界に30年以上お食事をご提供して参りました。
そのノウハウを活かし、人材不足課題に対して、ニュークックチル方式をはじめとした各種ソリューションをご提供しております。

現在委託の皆さまへのご提案

- ・厨房運営のコスト削減
- ・人員確保のお手伝い(広告など)
- ・厨房に必要な帳票類は弊社システムで解決
- ・定期訪問などアフターサポートも万全

現在直営の皆さまへのご提案

- ・高品質なクックチル食材をお届け
- ・下処理・加工が不要のため少人数で運営可能!
- ・普通食と同献立/価格で3種の介護食をご用意
- ・365日サイクルで季節感のある食事内容

株式会社 **ナリコマ** エンタープライズ

奈良営業所

☎0742-93-7581 / FAX: 0742-93-7582

オンラインセミナー開催中!

詳しくは **ナリコマ セミナー**

検索

担当: 乾 (090-3721-9235)



管理栄養士・栄養士志望学生による「食べて健康 介護食献立」コンテスト

令和8年4月

1. 目的

嚥下調整食学会分類 2021「コード4」、UDF 区分「1.2」を募集。介護食献立を普及し、食の多様性を図る。

2. 募集内容

主食・主菜・副菜・汁物・デザートで構成する献立を募集。昼食を想定し、材料費は600円以内とする。

3. 応募資格 管理栄養士・栄養士を目指す学生で、2名1チームとする。

4. 応募方法 下記 URL の Google フォームよりエントリー、もしくはメールで申し込み。

5. スケジュール

◇献立募集期間: 令和8年6月上旬～令和8年12月10日(木)

◇優秀作品書類選考期間: 令和8年12月下旬～令和9年1月下旬

◇優秀作品5チームによる最終審査(実習): 令和9年2月20日(土)

◇表彰式: 令和9年3月6日(土) リーガロイヤルホテル大阪にて

6. 優秀作品の表彰(賞金、表彰状授与)

グランプリ: 賞金5万円、準グランプリ: 賞金3万円、優秀賞(3チーム): 賞金1万円

7. 応募(エントリー)

Google フォーム: <https://forms.gle/KQW3MhYPzDgoGbqE8>



問い合わせ先: kaigo-kondate@akabara.or.jp

主催: 特定非営利活動法人 情熱の赤いバラ協会 <https://akabara.or.jp>

後援: 公益社団法人 奈良県栄養士会 / 公益社団法人 大阪府栄養士会 / 公益社団法人 京都府栄養士会

公益社団法人 滋賀県栄養士会 / 公益社団法人 兵庫県栄養士会 / 公益社団法人 和歌山県栄養士会